

ザ作州人

(36)

今回の「ザ・作州人」を上げてみる。

はメガヒットアニメ「鬼滅の刃」などの声優として大活躍している大塚芳忠さん(66)に登場してもらった。ふとした出会いからこの世界に入り、キャリア40年のレジェンドに。ナレーターとしても円熟期を迎えたい、故郷に役立ちたいという思いは年々強まっているという。

生涯現役、故郷に恩返しを

声優、ナレーター 大塚芳忠さん

◆◆◆
誰しも、この張りのある声を聞いたことがあるはずだ。耳に残るバリトンボイス。大塚さんはアニメ、洋画、海外ドラマの吹き替えなど、これまで多くの作品に出演し、声優として確固たる地位を築

き上げています。何から紹介したらいいのか。まずは「劇場版『鬼滅の刃』無限制列車編」が、日本映画歴代首位の興行収入を記録するなど「鬼滅」シ

リーズで、あの鱗滝左近次役を担当している。主人公・炭治郎の師匠という重要な役回りだ。主役も担当。さらに、テレビ番組「真相報道バン

キシャ」などのナレーションでもおなじみだ。生まれは阿波。野山を駆けまわる少年だったという。「祖父も父も大工だったので、残りの木端で工作をし

て遊んでいました。算数はからっきし。でも、国語は好きで、特に朗読だけは先生に褒められるのでもっと自慢でした」
加茂中から津山高へ。ここで少し挫折感を味わう。「私の目には津山高はとってもハイカラで、同級生たちはみ

ろつ。テレビ局のプロデューサーから声を掛けられたのだ。「その方と出会っていなければ、その後の人生どうなっていたか」
下積みを経て29歳で声優としてデビュー。以来、着実にキャリアを積み上げていった。

一番思い入れの強い作品には奈義町出身の漫画家、岸本斉史さんが手掛けた「NARUTO」自来也役を挙げた。「テレビアニメになると知り、出演できないか考えていたそのタイミングで師匠役という重要なキャラクターに抜き置かれたのです。うれしくて興奮しました」
作州人による夢のコラボ。大塚さんは「何年も前になりますが、津山に帰省した折、津山線をNARUTOのラッピング車両が走っていて、自来也が車両いっぱい描かれているのを発見したときは、とても誇らしかった」と明かす。

66歳。今後について尋ねると、こう即答してくれた。「最近特に思っているのが、故郷岡山のお役に立てるような仕事をしたいです」
去年は岡山西警察署の交通安全のアナウンサー、年明けには岡山から出演している。もちろん、作州津山のためならひとがります」
毎月第3水曜日掲載(事情により変わる)とがります」



大塚芳忠さん

因かもしれません」
他にも「うる星やつら」「キャプテン翼」「北斗の拳」「宇宙戦艦ヤマト」「ガンダム」などに出演しているが、これらはほんの一部。

吹き替えでは「仮面ライダー電王」、映画「ウォーターワールド」のケビン・コスナーや

ここで少し挫折感を味わう。「私の目には津山高はとつてもハイカラで、同級生たちはみ

ろつ。テレビ局のプロデューサーから声を掛けられたのだ。「その方と出会っていなければ、その後の人生どうなっていたか」

下積みを経て29歳で声優としてデビュー。以来、着実にキャリアを積み上げていった。

一番思い入れの強い作品には奈義町出身の漫画家、岸本斉史さんが手掛けた「NARUTO」自来也役を挙げた。「テレビアニメになると知り、出演できないか考えていたそのタイミングで師匠役という重要なキャラクターに抜き置かれたのです。うれしくて興奮しました」

「大ヒットしたのは大正という時代設定と

卒業後、あてもないまま上京。いまというフリーターのような生活

作州人による夢のコラボ。大塚さんは「何年も前になりますが、津山に帰省した折、津山線をNARUTOの

ラッピング車両が走っていて、自来也が車両いっぱい描かれているのを発見したときは、とても誇らしかった」と明かす。

66歳。今後について尋ねると、こう即答してくれた。「最近特に思っているのが、故郷岡山のお役に立てるような仕事をしたいです」

去年は岡山西警察署の交通安全のアナウンサー、年明けには岡山から出演している。もちろん、作州津山のためならひとがります」

「鬼滅の刃」などの声優として大活躍している大塚芳忠さん(66)に登場してもらった。ふとした出会いからこの世界に入り、キャリア40年のレジェンドに。ナレーターとしても円熟期を迎えたい、故郷に役立ちたいという思いは年々強まっているという。

誰しも、この張りのある声を聞いたことがあるはずだ。耳に残るバリトンボイス。大塚さんはアニメ、洋画、海外ドラマの吹き替えなど、これまで多くの作品に出演し、声優として確固たる地位を築

き上げています。何から紹介したらいいのか。まずは「劇場版『鬼滅の刃』無限制列車編」が、日本映画歴代首位の興行収入を記録するなど「鬼滅」シ

リーズで、あの鱗滝左近次役を担当している。主人公・炭治郎の師匠という重要な役回りだ。主役も担当。さらに、テレビ番組「真相報道バン

キシャ」などのナレーションでもおなじみだ。生まれは阿波。野山を駆けまわる少年だったという。「祖父も父も大工だったので、残りの木端で工作をし

て遊んでいました。算数はからっきし。でも、国語は好きで、特に朗読だけは先生に褒められるのでもっと自慢でした」
加茂中から津山高へ。ここで少し挫折感を味わう。「私の目には津山高はとつてもハイカラで、同級生たちはみ

ろつ。テレビ局のプロデューサーから声を掛けられたのだ。「その方と出会っていなければ、その後の人生どうなっていたか」

下積みを経て29歳で声優としてデビュー。以来、着実にキャリアを積み上げていった。

一番思い入れの強い作品には奈義町出身の漫画家、岸本斉史さんが手掛けた「NARUTO」自来也役を挙げた。「テレビアニメになると知り、出演できないか考えていたそのタイミングで師匠役という重要なキャラクターに抜き置かれたのです。うれしくて興奮しました」

作州人による夢のコラボ。大塚さんは「何年も前になりますが、津山に帰省した折、津山線をNARUTOの

ラッピング車両が走っていて、自来也が車両いっぱい描かれているのを発見したときは、とても誇らしかった」と明かす。

66歳。今後について尋ねると、こう即答してくれた。「最近特に思っているのが、故郷岡山のお役に立てるような仕事をしたいです」

去年は岡山西警察署の交通安全のアナウンサー、年明けには岡山から出演している。もちろん、作州津山のためならひとがります」

毎月第3水曜日掲載(事情により変わる)とがります」

大塚芳忠さん(おおつか 芳忠) 1954年5月19日生まれ。津山高卒業後、上京。83

歳。今後について尋ねると、こう即答してくれた。「最近特に思っているのが、故郷岡山のお役に立てるような仕事をしたいです」

去年は岡山西警察署の交通安全のアナウンサー、年明けには岡山から出演している。もちろん、作州津山のためならひとがります」

毎月第3水曜日掲載(事情により変わる)とがります」